

建築研究所ニュース



平成21年 5月28日

防犯まちづくりのための調査の手引きについて

(専門紙記者懇談会資料)

平成21年5月28日に国土交通省で開催しました、「建築研究所 第2回専門紙記者懇談会」の配布資料をご案内します。

(内容の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所
所属 総務部総務課
氏名 大高茂則
電話 029-879-0605 (直通)
E-mail ootaka@kenken.go.jp

防犯まちづくりのための調査の手引きについて

建築研究所は、平成18年度から20年度まで実施した重点的研究開発課題「住宅・住環境の日常的な安全・安心性能向上のための技術開発」の成果のひとつである「防犯まちづくりのための調査の手引き」を公表・出版します。

【本編】 (建築研究資料117号) A4版69ページ	【概要版】 観音折りA4版8ページ
1章 本書の目的 2章 まちの概況把握 3章 詳細調査の方法と解決方法 4章 次の展開に向けて	p.1 表紙 p.2,3 手引きの使い方、まちの概況を把握する p.4-7 詳細調査の方法 p.8 次の展開に向けて

※いずれも建築研究所HPよりダウンロード可

■特徴

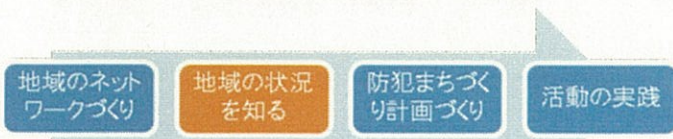
- 防犯まちづくりに取り組む地域住民の活用を想定し、建研の過去の研究成果を基にしつつも、分かりやすく解説
- 地域住民が不安に感じやすい要因に対応した4つの詳細調査を紹介

■「手引き」作成の背景

- 地域特性に応じた防犯活動の必要性
- より効果的・効率的な防犯活動の必要性
- 交通安全など他分野との連携の必要性
- ソフトの活動とハードの連携の必要性

■「手引き」の位置づけ

- 計画的な防犯まちづくりの第2段階「地域の状況を知る」ための調査手法を紹介(下図)



参考:「安心して暮らせるまちにするために」(国土交通省、2008)

- 「まちの概況把握」「課題の分析・整理」「詳細調査」の3つのステップごとに事例に基づいた解説

■主な内容(詳細調査)

	●みまもり量調査 歩行者や自転車の往来、沿道での立ち話や花育てなどによってうまれる「みまもり」の量を道路別、時間帯別に把握するための調査。
	●車の通り抜け調査 地域内を通行する車(自動車)の行動を調べ、地域に用いない通り抜け目的の車(通過交通)の量とその出入り箇所を把握するための調査。
	●くらがり調査 地域住民が暗くて不安に感じている場所を把握したり、街灯の維持管理の問題やあかるさの不足、明暗の差など、くらがりの原因を把握したりするための調査。
	●身近な公園調査 管理が不十分でゴミが散らかっている、植栽が必要以上にしげっている、住民にほとんど利用されていないといった問題を把握するための調査。

■今後について

- 平成21年度からの重点的研究開発課題「防犯性向上手法に資するまちづくり手法の開発」において、「手引き」の調査手法をモデル地区に適用
- 実践で明らかになった課題、地域住民等の声を踏まえて改訂する予定(～平成22年度)

(内容の問合せ先)
 住宅・都市研究グループ研究員 樋野公宏(ひのきみひろ)
 電話 029-864-6671(直通) hino@kenken.go.jp